



あいじつ


開校144周年

「人を想う」

副校長 原島 謙一

朝夕めっきり冷え込むようになりました。令和6年も残すところ1か月となりました。

「桃太郎はなぜこの三匹を仲間にしたのか」

以前、何気なく見ていた新聞にこのような見出し広告がありました。その瞬間、とても衝撃を受けました。桃太郎のお話は誰もが知っていますが、私自身今までそのようなことを一度も考えたことがなかったからです。皆さんはどうでしょう。

この見出しの後に次のような文が続きます。(JTの広告から引用)

「違うから、人は人を想う」

桃太郎はなぜ、犬、猿、キジという一見バラバラな三者を仲間にしたのか。そこには、桃太郎の明確な戦略があったのではないのでしょうか。おそらく桃太郎は、チームに多様性を取り入れ、ある種のケミストリー（化学反応）を起こそうとしたのではないのでしょうか。最初は、合わないこともあったかもしれませんが、でも、心を開き、認めあうことができれば、個性の違いはお互いを高め合うきっかけになります。違うから、視野が広がる。発見がある。成長できる。強くなれる。これからの時代に、私たちが学ぶべきことが、そこにはあるような気がします。

まさしくこの広告に書かれている文は、学校の学級を表しているのではないのでしょうか。毎年のクラス替え、学年合同行事（スポーツフェスタや学芸会）、授業交換や教科担任制など多くの人と関わる場面が学校ではあります。そのような中で、お互いの違いを認め、お互いのよさを発揮して高め合えるように教育活動を推進していきたいと考えています。

さて、我が国では、毎年12月10日（4日～10日）を最終日とする1週間を人権週間と定めています。「人権」とは、人は誰もがその人らしく生きていくことができる権利のことです。毎年、色々な場で、人権について子どもたちに話をしていますが、容姿、国籍、あだ名、障害があることなどで相手が嫌がることを言ったり仲間はすれにしたりしてはいけないことを今後も繰り返し話をしていきます。

12月7日には、学芸会があり、そのためによりよいものをつくろうと一人一人が自分に与えられた役割に責任を持って学年全員で最高のものを創り上げようとしています。そんな中でも、それぞれのよさを発揮してケミストリーを起こしてくれることを楽しみにしています。

来年も本校へのご協力をお願いするとともによいお年をお迎えください。

学芸会に向けて

担当 森 若菜

来週末、いよいよ学芸会を実施します。発表の日が近づき、どの学年の練習にもさらに熱が入ってきました。子どもたちは自分の役を演じ切ろうと張り切って練習に取り組んでいます。大道具や小道具づくりにチャレンジしたり、音響や照明も自分たちで行ったりと、皆で協力して一つの劇を作り上げようと頑張っています。この学芸会での取り組みや経験から、子どもたちが大きな達成感・成就感を得られることを願っています。愛日小の舞台が温かい歓声や子どもたちの笑顔で包まれる様に、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

〈お願い〉

- ・劇開始5分前にはご着席ください。
- ・劇の進行状況によっては、開始時刻が遅れる場合があります。予めご了承ください。

学力調査について

担当 石山 真理

12月11日（水）2年生から6年生を対象に、新宿区の学力定着度調査が行われます。教科は、国語と算数の2教科です。学力調査の結果は、子どもたちに配布しているタブレット端末にデータが紐づけられます。間違った問題を見直したり、苦手な問題を繰り返し解いたりすることで、学習の定着につなげてほしいと思います。また、貸し出しているタブレット端末を有効活用してください。

学年ごとにもものさしやコンパスなどの準備物が違います。実施のお知らせを後日配布いたしますのでご確認をお願いいたします。結果は、年度末頃に返却予定です。よろしくお願いいたします。